

# 平成 28 年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成 29 年 3 月 7 日

研究・研修課題名	がん薬物療法認定薬剤師およびがん専門薬剤師の資格更新に必要な研修会への参加（会場：福岡）
研究・研修組織名（所属）	薬剤部
研究・研修責任者名（所属）	直良 浩司（薬剤部）
共同研究・研修者名（所属）	玉木 宏樹（薬剤部）

## 目的及び方法、成果の内容

### ①目 的（800字程度）

新たな抗がん薬や支持療法薬の開発、それに伴う治療レジメンの多様化など、がん化学療法における進歩は著しく、診療支援業務を行ううえで薬剤師は常に最新の知識を修得しておく必要がある。本領域の専門認定薬剤師として、日本病院薬剤師会のがん薬物療法認定薬剤師および日本医療薬学会のがん専門薬剤師がある。特に後者は、平成 22 年 5 月に「広告が可能な医師等の専門性に関する資格」として厚生労働省が認めている。また、これらの資格は平成 26 年度の診療報酬改定により新設された「がん患者指導管理料 3」の算定要件にも掲げられている。

現在、がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師の資格を有しており、外来化学療法室において患者指導や副作用モニタリング、投与量確認や抗がん薬ミキシングを行い、「がん患者指導管理料 3」を算定しているとともに、後進の育成に努めている。

これらの資格の更新には、がん専門薬剤師集中教育講座の受講および学会が認定する他の講習会、セミナーへの参加による、単年ならびに複数年における規定単位の取得が義務付けられている。そのため、更新に必要な要件を充足することを目的に研修会へ参加する。

### ②方 法（800字程度）

平成 28 年度のがん専門薬剤師集中教育講座は下記の日程で開催される。

- ・ 京都会場：平成 28 年 7 月 2 日～3 日
- ・ 福岡会場：平成 28 年 12 月 3 日～12 月 4 日
- ・ 東京会場：平成 29 年 2 月 11 日～2 月 12 日

いずれかの会場あるいは学会が認定する他の講習会、セミナーに参加し受講する。受講後、部内にて研修内容を報告することにより、他の薬剤師へ知識を伝達する。

### ③成 果（データ等の図表を入れて2000字程度）

業務等の都合上、平成 29 年 2 月 11 日～2 月 12 日に東京にて開催された、がん専門薬剤師集中教育講座に受講の予定であったが、風雪により交通機関が運休したため受講できなかった。

そのため、「病院医学教育研究費」についても執行に至らなかった。